

施策番号	0102		
施策名	低炭素型のくらしやまちづくりの実現		
概要	低炭素型のくらしやまちづくりのために、環境に優しいライフスタイルへの転換や再生可能エネルギーの利用など、省エネ省資源化に向けた取組を推進する。		
担当局・部室	環境政策局・環境企画部，地球温暖化対策室	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関係する主な分野別計画等	京（みやこ）の環境共生推進計画，京都市自動車環境対策計画（2011～2020），京都市地球温暖化対策計画（2011～2020），京都市エネルギー政策推進のための戦略		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 新規エコドライバーズ宣言者数(人)	b	b	15,792	16,460	20,000	82.3%	b	1.00	
2 エコ学区宣言数(学区)	-	-	26	163	101	161.4%	a	0.50	
3 「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数(社)	a	a	239	251	275	91.3%	a	0.50	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 省エネや省資源に取り組むひとや、徒歩、自転車、公共交通機関を利用するひとが増えている。	75	237	147	53	25	537	b
	14.0%	44.1%	27.4%	9.9%	4.7%		
2 太陽光発電や使用済み天ぷら油の燃料化など、環境にやさしい技術やエネルギーの活用が進んでいる。	35	145	187	109	40	516	c
	6.8%	28.1%	36.2%	21.1%	7.8%		
3 京都では、環境にやさしい行動を当たり前のこととして実践するひとや事業者が増えている。	26	113	231	96	40	506	c
	5.1%	22.3%	45.7%	19.0%	7.9%		
4 -							-
5 -							-
市民生活実感調査総合評価							c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					25年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民の皆様や事業者の方々により展開されるエコドライブや環境にやさしい活動は、行政の取組だけでなく各々の意識啓発が大切であることから、市民の実感に重みを置く。						24年度	B
(原因分析) 【客観指標】●新規エコドライバーズ宣言者数は、運転免許の新規取得者が大きく減少していること等から昨年度と同程度であり、目標値を達成できなかったものの、自動車関連団体と連携し、エコドライブ推進月間(11月)における啓発イベントや運転免許の取得時等にエコドライブ教室を開催し、エコドライブの普及拡大を図ったことにより、3年連続b評価と安定している。 ●エコ学区宣言数は、当室をはじめ、区役所職員等による地域への呼びかけを積極的に行った結果、当初の目標(101学区)を大きく上回る163学区となり、a評価となった。 ●「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数は、地下鉄全車両に掲出したポスター広告や約12,000の事業者へのダイレクトメール送付、ホームページによる情報発信等により幅広い媒体で周知を行ったことにより、昨年度より増加し、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】省エネ、省資源や公共交通優先の取組については、継続的な取組により浸透しつつあるため、昨年度に引き続きb評価となった。再生可能エネルギーの活用やライフスタイルの転換については、「どちらとも言えない」との回答が多く、昨年度に引き続きc評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		25年度決算額	26年度予算額		
1	地球温暖化対策条例の推進	80,385	96,416	良い	環境政策局
2	地球温暖化対策産業・業務部門	60,480	59,553	普通	環境政策局
3	京のアジェンダ2.1推進事業	19,199	20,079	普通	環境政策局
4	「DO YOU KYOTO?」推進事業	19,272	18,014	良い	環境政策局
5	環境未来都市推進事業	4,152	6,791	-	環境政策局
6	再生可能エネルギー等利用推進事業	171,649	355,933	普通	環境政策局
7	「Do YOU KYOTO?クレジット」を活用した地域の温室効果ガス排出量削減促進事業	14,500	14,928	かなり悪い	環境政策局
8	環境にやさしいライフスタイルへの転換プロジェクト	6,025	9,404	良い	環境政策局
9	「エコ学区」事業	52,417	48,630	良い	環境政策局
10	地球温暖化対策市役所率先実行部門	11,673	20,743	普通	環境政策局
11	京都環境賞	4,156	4,389	悪い	環境政策局
12	環境保全活動の普及啓発	22,599	22,204	良い	環境政策局
13	省エネルギー型事業活動の推進(KES認証取得の促進)	2,044	2,248	良い	環境政策局
14	エコドライブ推進事業	11,323	10,988	良い	環境政策局
15	モデルハウス管理	1,532	1,532	普通	産業観光局
16	スマートシティ京都プロジェクト	73,515	84,477	良い	産業観光局
17	グリーンイノベーション創出総合支援プロジェクト	45,878	67,875	良い	産業観光局
18	既存住宅の省エネリフォーム等支援事業	-	156,066	-	都市計画局
19	東部クリーンセンター跡地活用及び余熱施設大規模改修	523,224	56,356	-	環境政策局
20	自動車環境対策	11,859	12,318	-	環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 自動車関連団体との連携を拡大し、エコドライブ推進月間における啓発イベントの実施やエコドライブ教室開催等の取組により、引き続きエコドライブの普及拡大を図る。
- 再生可能エネルギーの活用は、住宅用太陽光発電システム等の設置助成制度を実施すると共に、バイオマスエネルギー等についても引き続き取組を推進する。
- 地域ぐるみでライフスタイルの転換を図る「エコ学区」事業の取組を進めるとともに、市民の皆様や事業者の方々に、引き続き毎月16日のDO YOU KYOTO?デーにおけるノーマイカーデー等の環境配慮行動の実践を呼びかける。
- 以上のことにより、市民の皆様や事業者の方々と一体となった取組を続けていくことで市民生活実感評価の向上を図る。

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現				
指標名	新規エコドライバー宣言者数(人)					
担当課	環境管理課		連絡先	222-3951		
1 指標の説明						
ふんわりアクセルやアイドリングストップなどの環境にやさしい運転方法である「エコドライブ」に取り組むことを新しく宣言した人数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
低炭素社会の実現に向けた環境にやさしい運転方法の普及状況を計る指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	15,792	16,460	668人増	20,000	京都市自動車環境対策計画<2011~2020>に基づき、毎年2万人ずつの増加を目指す。	82.3%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		毎年2万人	32年度	82.3%	京都市自動車環境対策計画<2011~2020>	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：75%以上～100%未満 c：50%以上～75%未満 d：25%以上～50%未満 e：25%未満			当該指標については目標達成の100%以上をa、以下25%刻みで基準を設定した。		24	
					25	
					26	
					b	
					b	
					b	
指標名	エコ学区宣言数(学区)					
担当課	地球温暖化対策室		連絡先	222-4555		
1 指標の説明						
低炭素社会実現やライフスタイルの転換に向けた先進的な取組を総合的に実践する「エコ学区」事業の学区宣言数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
低炭素社会の実現やライフスタイルへの転換状況を示す指標			算出方法：「エコ学区」事業の学区宣言数の合計 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	26	163	137学区増	101	平成27年度の目標を達成するために、当年度達成すべき数値	161.4%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値		222学区	27年度	73.4%	全222学区の達成を目指す	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：50%以上～80%未満 d：20%以上～50%未満 e：20%未満			平成27年度までの3年間で全222学区でのエコ学区宣言を達成する目標であり、単年度目標は、平成25年度101学区、平成26年度は206学区、平成27年度は222学区とする。 評価年度で、単年度目標を上回る場合をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。		24	
					25	
					26	
					-	
					-	
					a	

施策名	0102	低炭素型のくらしやまちづくりの実現				
指標名	「DO YOU KYOTO?」関連事業協力団体数(社)					
担当課	地球温暖化対策室	連絡先	222-4555			
1 指標の説明						
「DO YOU KYOTO?デー」(毎月16日)における統一行動(ノーマイカーデー, ライトダウンなど)の協力(登録)団体数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
低炭素社会の実現に向けた京都流ライフスタイルの定着状況を示す指標			出典: 事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	24年度	25年度		数値	根拠	
数値	239	251	12社増	275	平成32年度の数値目標(450)達成のために当年度達成すべき数値	91.3%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		450	32年度	55.8%	事業課にて設定	
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新数値の目標値に対する達成度が a: 80%以上 b: 60%以上~80%未満 c: 40%以上~60%未満 d: 20%以上~40%未満 e: 20%未満		市民・事業者の皆様と共に, 地球温暖化対策の取組を啓発することは, 温室効果ガス排出量削減に大きく寄与する。多数の方々に賛同いただくことが重要であるが, 本市が定めた統一行動への十分な理解と協力が不可欠であることから80%以上をa, 以下20%刻みで基準を設定した。		24	25	26
				a	a	a